

NEWS FLASH
NEWS FLASH
NEWS FLASH

産業振興の新拠点開発始動

ビルド21らが基盤整備造成工事

A-3

去る7月30日、磐田市見付の東名高速路・磐田インターチェンジ（以下磐田IC）南側に工業用地を整備する（株）ビルド21が、浜松市中央区原島町・藤井啓介社長らが、同地における基盤整備事業造成工事の安全祈願祭を開催した。

当日は施主であるビルド21の藤井社長をはじめ、造成工事の設計・施工者である清水建設（株）

名古屋支店 副支店長の真先修氏、事業主体者の（株）エスコン、事業管理者の（株）エム・レップAS、共同事業者の石川建設（株）、（株）イトー、磐田市、地元緑ヶ丘自治会から関係者が出席し、厳かに神事が挙行された。



磐田IC南地区工業用地の完成予想図

展と雇用創出につなげるために関係機関との調整など伴走型の支援に取り組んでいる。

ビルド21は、磐田市見付と中泉の『Plaza 21』などの商業施設開発や、見付美登里、東大久保土地区画整理などでの住宅分譲、メガソーラー事業、FCフード事業など様々な事業を展開してきており、磐田市との結びつきは強い。今後、物流インフラに恵まれた同地が、地域産業活性化に向けた最先端の最先端の場所として、地域活性化の一翼を担う事が期待されている。

同社では2027年にかけて用地の造成工事を行い、27年度中の工事完了を目指していく。なお、誘致企業に関しては、物流関連施設を見込んでおり、両者が協力して同用地への企業誘致に取り組み、市と同社双方の了解を経て決定される方針だという。

動き出す！ 磐田IC南地区物流・工業用地



7月30日に造成現場で開催された安全祈願祭

市内の民間工業用地開発事業の公募型プロポーザルを実施し、磐田IC南地区の2区画（計約8・8畝）を整備する同社の提案を採択した。産業拠点に位置付ける同IC周辺の開発を促し地域経済の発

ウオの目
イボに
タコ

焙煎

はと麦粉

掛川茶のやぶち園

浜松市中央区上西町3の17（船越バイパス沿い）

053（464）4418